

## 座実施報告 (FIC 会員向け)

|      |                             |       |     |
|------|-----------------------------|-------|-----|
| 講座名  | お江戸の玄関・品川を訪ねる 〓古地図、龍と地蔵と銀杏〓 |       |     |
| 開催日時 | 2025年5月31日(土) 10時 ~13時      |       |     |
| 開催場所 | 東京都品川区                      | 一般参加者 | 35名 |

### ①活動概要 (FIC 会員向けであることを意識して作成をお願いします)

今回は東海道の品川宿の歴史に触れながら植物を観察するという企画です。品川は江戸から東海道の最初の宿場町であるため京、大阪、伊勢などへ旅立つ人達を見送った場所でもあります。また春は桜や潮干狩り、秋はお月見、紅葉狩り、漁火見物など日帰りや一泊で行ける観光名所で、そんなところを古地図や浮世絵などをご紹介しますながら案内しました。

御殿山は幕府と品川の町民が協力して桜を植え花見の名所になった所です。しかし幕末には江戸湾海防の為のお台場(砲台)建設の土を取るため大きく削られました。現在の御殿山には削られた場所の一部が池や滝もある緑の御殿山庭園となっています。

植物に関しては御殿山庭園がメインの観察場所となります。ハンゲショウ、ミズキ、ビョウバナギ、アジサイ等を見ることができました。旧東海道沿いには東海道のいくつかの宿場から貰い受けた「街道の松」が植えられています。

副題1つ目の「龍」は、品川(シナガワ)神社の東京三鳥居の一つといわれる石の大きな鳥居です。向かって左に「昇り龍」、右に「降り龍(おりりゅう)」の見事な彫刻が施されています。また、雨で中止とした後、希望者のみをご案内した荏原神社は社殿の屋根の雨どいが龍の形でその口から雨水が流れ落ちる様になっています。なお、荏原神社の祭礼は「天王祭」といわれお神輿が海の中に入ります。その海域が天王洲と呼ばれるようになり現在の地名になりました。

副題2つ目の「地蔵」は、法禅寺に天保の大飢饉で亡くなった人達を祀る供養塔の前に六地蔵が並んでいます。農村などから餓えて流浪してくる大勢の人達がこの附近で倒れ、法禅寺にはそのうち五百余人が埋葬されています。また、今回雨で中止となったため行くことが叶いませんでした品川寺(ホンセンジ)には江戸の街道を守護する江戸6地蔵の1つで高さ約3mもある地蔵菩薩像が鎮座し、旅人達を見守っていました。

副題3つ目の「銀杏」は、法禅寺に樹齢400年の銀杏の巨木があります。また、品川寺(ホンセンジ)には樹齢650年の銀杏の巨木もあり「厄除開運ぎんなん」が人気となっています。

### ②珍しい動植物、珍しい生態 (写真があれば紹介)

- ・法禅寺の樹齢400年の銀杏の巨木
- ・品川寺の樹齢650年の銀杏の巨木

### ③講座内容、運営で良かった点、今後にお勧めしたい点

前日に雨予報のためコースの変更がありうることを連絡したうえでの開催となりました。

雨雲レーダーで強い雨が降って来る予報となっていたため中止を決定しましたが特に不満の声はありませんでした。

### ④講座内容、運営で反省する点、今後はお勧めできない点

特にありません

### ⑤ヒヤリハット (担当理事と確認後、特になければナシと記載)

無し

(FIC 参加者)

チーフ講師：西元生

アシスタント講師：風見信昭、板倉完二

スタッフ：田中、羽根、高橋(美)、加藤

オブザーバー：なし

(作成：西元生)